



雪のフローティングスクール・5年生

1月20日(木)、5年生が、常盤小学校の5年生と一緒に学習船「うみのこ」に乗船し、「びわ湖フローティングスクール」を行いました。

今年度は、コロナ禍の影響で当初9月の実施予定が延期になっていました。また、現在、オミクロン株による第6波が広がっている中で、無事に実施できたことは本当にラッキーでした。ただ、今年度も宿泊することは叶わず、日帰りでの実施となりました。「うみのこ」では新型コロナウイルスの感染を防ぐために、新たに窓を設けて常に換気を行っていただきました。また、空気清浄機を設置して安全に学習ができるように配慮するなど、万全の対策をしてきていました。

この日は、朝から小雪の舞う寒い1日でした。それに関わらず、集合時間よりずいぶん早く登校する児童が多く、この校外学習を楽しみにしていたことが良く分かりました。大津港での集合写真撮影や出港見学、沖島展望の際には雪の勢いが強くなり、寒さに震えました。船から展望する琵琶湖岸や琵琶湖大橋、沖島やはるか北に見えた伊吹山の風景は子どもたちの心に強く残ったようです。

「びわ湖学習」では、プランクトンの観察や湖底の生き物、魚の観察、透明度調査など、一人一人が興味を持ったコーナーを回り、学習を進めました。40年前の琵琶湖の水の汚れ具合と、今の水質を比較して、多くの努力により水質が改善されてきたことを学ぶことができました。

昼食は「うみのこカレー」。最近はコンビニエンスストアでも販売している人気商品です。配膳や食器の準備も個別になるよう徹底され、お茶の配膳も手袋をした教師が行いました。席も間隔を取って静かに食べました。

例年のように、乗船校同士で班を編成して交流することはできませんでした。宿泊もできませんでした。しかし、「うみのこ」に乗って湖上で学習したことは、滋賀県に住んでいる子どもとしての貴重な経験になりました。閉校式で常盤小学校の友達と別れる際は、交流が少なかったにも関わらず、同じ体験を共有した仲間が持つ連帯感が感じられました。



出向前の出あい



浜大津を出港



琵琶湖大橋の下



船内見学



沖島展望



うみのこカレー

時刻	活動内容/班
7:30	学校集合 各校
7:45 8:00	学校出発 各校
8:30	大津港駐車場
9:00	児童対面式
9:15	乗船指導
9:30	乗船
10:00	出港見学
10:10	船内見学 (前半)
10:30	船内見学 (後半)
10:50	南湖展望
11:15	前半食事 (1~19班) 船内活動 (20~37班)
12:20	沖島展望
12:45	後半食事 (20~37班) 船内活動 (1~19班)
13:50	学習のふりかえり
14:10	荷物整理
14:20	そうじ
14:40	閉校式
15:00	下船
	大津港出発
15:30	学校到着



うみのこ掃除



プランクトン観察



透明度調査



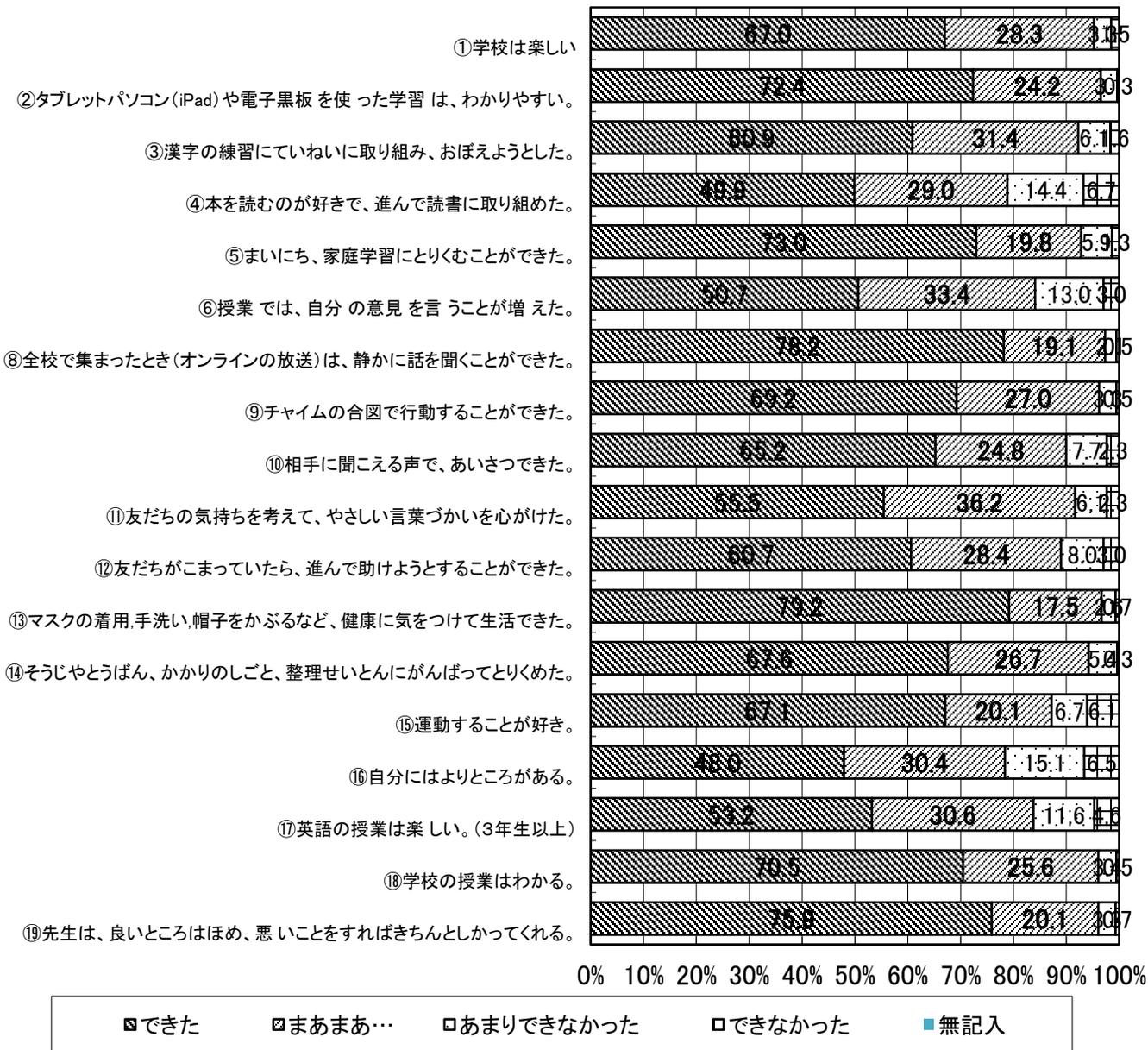
生き物調べ



うみのこカレー

学校評価からみた、令和3年度の成果と課題

令和3年度児童評価 2学期

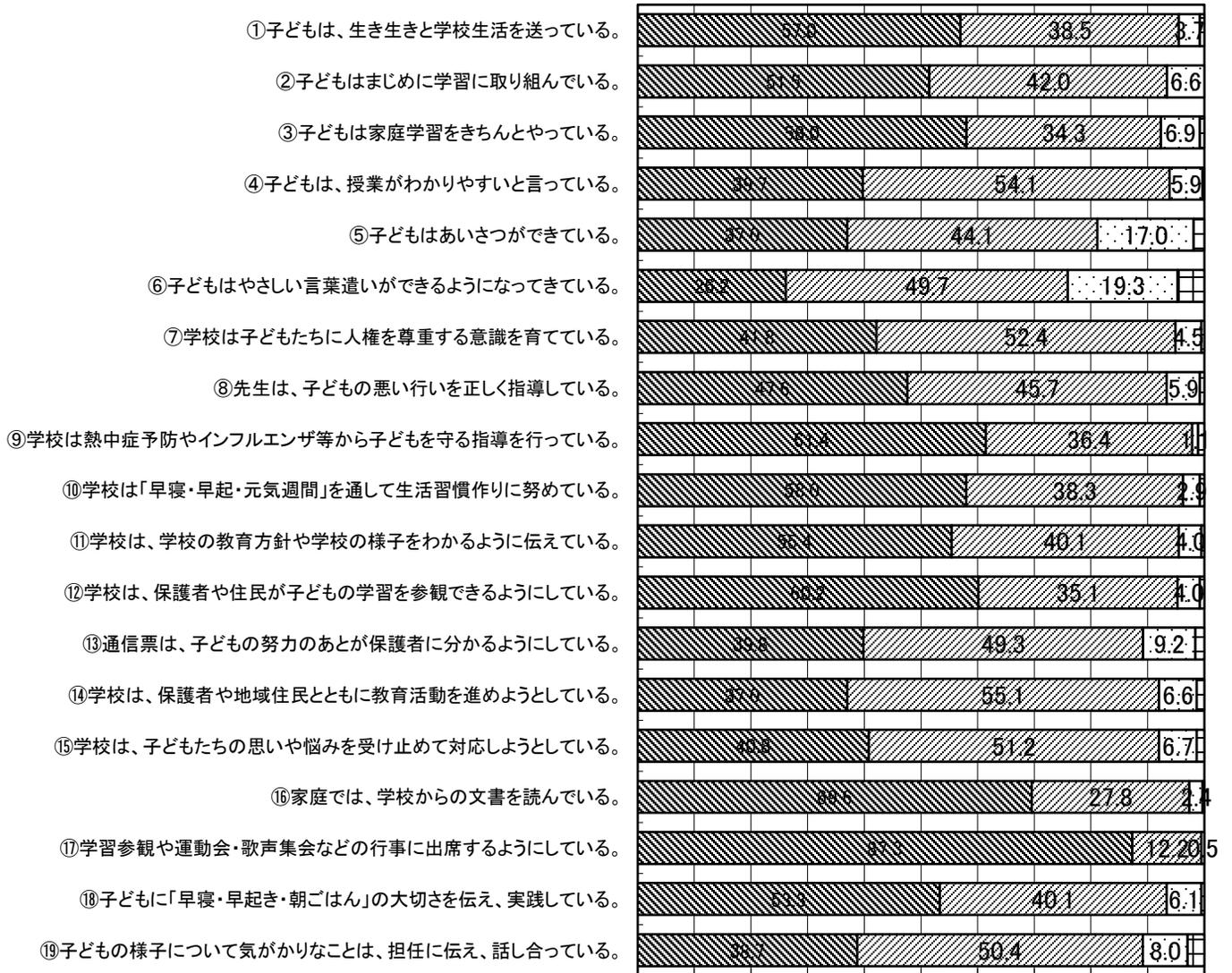


子どもたちの自己評価から次のような成果が読み取れます。まず、学習面では、「学校の授業がわかる」というプラス評価が96%、「毎日の家庭学習にきちんと取り組んでいる」というプラス評価（できた、まあまあできた）が約93%と高く、まじめに学習に取り組める児童が多いことが分かります。特に、ICTを活用した学習のプラス評価が約97%、漢字の学習に根気強く取り組んでいる割合が92%と昨年よりも高い評価になっていることは学びの充実を伺える結果だと言えます。また、「チャイムを守る」「あいさつができる」「マスクを着用し帽子をかぶる」「掃除をがんばる」といった規範意識や「優しい言葉遣いができる」「友だちが困っていたら助ける」といった思いやりの意識もプラス評価が90%以上になり、草津小学校が目指す「自律心のある子」「思いやりと優しさのある子」の育成が少しずつ進んでいる手応えを感じます。

課題として挙げられるのは、プラス評価が80%を切っている「自分にはよいところがある」と「本を読むのが好きで、進んで読書に取り組んでいる」の2項目です。子どもたち一人一人の良さや努力を的確に見取り認め、褒めていく努力を我々教職員がすることで、自尊心を育てていきたいと思えます。また、良い本を子ども同士で紹介しあう取組を充実させて、読書の時間を計画的に学習の中で設けていきます。

令和3年度 保護者の方による学校評価結果

回収率 81.3%(379件)



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

■できた

■まあまあ…

□あまりできなかった

□できなかった

①～⑮までの中で、二項目を除いてプラス評価（できる・まあまあできる）が90%を超えています。特に①の「学校生活を生き生きと送っている」②「まじめに学習に取り組んでいる」③「家庭学習をきちんとやっている」の3項目は、「できた」という評価が50%を超える高い評価をいただいています。昨年度に比べて家庭学習習慣が定着してきたのが、今年度の大きな成果です。

プラス評価が90%に届かなかった評価項目は、昨年度と同様、子どもたちの「あいさつ」と「やさしい言葉遣いができる」でした。子どもたちの自己評価を見ると、努力していることは分かるので、学校以外の場所でもあいさつや言葉遣いに気配りができるよう、粘り強く指導を続けていきます。

⑱の「子どもの様子について気がかりなことは、担任に伝え、話し合っている。」⑮の「学校は子どもたちの思いや悩みを受け止めて対応しようとしている。」の項目のプラス評価がいずれも90%前後と改善してきています。今後も子どもたちの日々の悩みや困りごとに対応し、保護者の皆様との連携をさらに密にしていきたいと考えています。また、保護者評価でいただいたご意見につきましては、校内で共通理解を図り、改善に努めていきたいと考えています。

中学校の出前授業・6年生

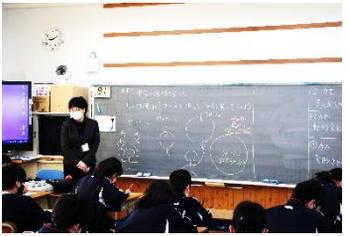
1月14日(水)の1時間目、6年生が草津中学校の先生による出前授業を受けました。中学校に入学する前に中学校の授業を実際に体験し、中学校生活への見通しを持つことを目的にした取組です。

1組は理科室で西村章先生から理科の授業を受けました。既習の酸素と二酸化炭素に関する課題から、グループで意見を出し合い、実験を行いました。今まで思い込んでいた知識が間違っていたことに気づき「へえ〜。」と驚く声が上がっていました。児童の感想には「とてもわかりやすい授業で、中学校へ行くのが楽しみになった」という声が多く聞かれました。

2組は体育館で松尾ゆか先生から体育の授業を受けました。最初は1人で、その後2~3人組で腕を組んで立ち上がり走るウォーミングアップを行いました。次にバスケットボールを使ってグループ対抗でシュート競争を行いました。どこからシュートしてもOKのルールで、グループによって様々な方法が見られました。多かったグループのこつを聞き合い、再チャレンジ。どのグループも1回目より回数が増えました。準備運動の質が小学校より高いことや、バスケットボールが苦手な児童も楽しく取り組めたという感想が多かったです。中学校の体育学習に見通しが持てたようです。

3組は教室で西田弥寿子先生から中学校理科全体の構造や内容のレクチャーを受けました。中学校の理科は「生物」や「化学」といったカテゴリーに分かれていると聞いて「難しそうだな」と不安を感じた児童も、小学校で学習したことの続きを学ぶということを教えていただき見通しが持てたようです。メインの学習は「りんごを使って、力があるなあ・・・と思えるような絵を描いてみよう」という課題で進められました。りんごは実在しないような大きさでもOK。児童の自由な発想による絵をもとに、楽しく授業が進められました。

どのクラスも初めての中学校の先生からの授業に緊張しながらも、一生懸命、しかも楽しみながら参加していました。「中学校の先生が意外に優しくて安心した」「教え方が分かりやすい」といった前向きな感想がたくさん持てた有意義な時間になりました。中学校が少し身近に感じる日となったのではないのでしょうか。



草津市内小中学校 特別支援学級・草津養護学校 合同作品展

(ホームページ開催)2022年2月14日(月) ~ 2月28日(月)

今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、会場を設けての作品展は実施しません。その代わりに、各学校のホームページ上にリンクを貼り付けて、Web上での開催を行います。各学校の子どもたちの力作がそろっています。ぜひご覧ください。

大切なお知らせ

草津市就学援助費給付制度の紹介

草津市では、小・中学校に在籍するお子さんがおられるご家庭で、経済的な理由により就学に必要な経費の負担にお困りの保護者の方に、学用品費の一部や学校給食費等を給付する就学援助費給付制度を実施しています。受給を希望される場合は、申請書に必要事項を記入し、学校まで提出してください。なお、受給要件に該当しない場合は認定できませんのでご承知ください。

申請書や制度の説明につきましては、学校または草津市役所学校教育課(6階)でお渡ししますので、お問い合わせください。